



初めて提案した団体からのメッセージ

令和4年に初めて提案をした宮城県利府町総務部総務課の小野寺さんに、提案に至った経緯や提案をして感じたことを聞いてみました。



宮城県利府町
総務部総務課
小野寺課長補佐
兼総務係長

● 提案しようと思ったきっかけは？

私たちが提案募集方式を活用するきっかけは、令和元年度に内閣府から講師3人を派遣いただき、町長・副町長も含めた研修会を実施したことです。その後、町の若手職員で構成する行政事務改善委員会で提案内容について検討を行うこととなり、令和3年度には、内閣府職員に御協力いただいた研修会2回を含め7回の委員会を開催しました。その結果、この委員会で検討していた提案候補7件のうち2件を令和4年に本提案させていただきました。

● 内閣府(担当者)とのやりとりは？

委員会で検討していた提案候補7件について、簡易相談の段階から丁寧に対応していただきました。提案の案文調整が開始された4月に入ってから、頻りに電話やメールが来るようになりましたが、手厚いサポートをいただいたと感じています。

例えば、支障事例を明確にするために、何件、何人等の具体的なデータ等が必要となるため事務担当課と協力しながら対応しましたが、データ収集する際の調査等を円滑に進めるに当たって、内閣府からアドバイスをいただきました。内閣府には、いつでも気軽に連絡ができますし、簡単な質問にもすぐに答えてもらえます。

● 提案をして感じたことは？

地方分権という観点から、議論を重ねて制定された法令や国の制度を変えるという大きな判断を制度所管省庁にしてもらうためには、私たち自身も制度の趣旨を熟知することと合わせて、関係省庁に地方の実情を正確に知ってもらうことが大切だと思います。そのためにも、支障の伝え方・見せ方が非常に重要であると感じました。

今回、初めて提案をしてみて、それぞれの職員が自身の業務の棚卸し、法的根拠の再確認を行うことができ、また、他の地方公共団体の皆さんとのつながりを感じることができました。最初は本提案に漕ぎ着けることを第一に考えていましたが、本提案の際に相談した大府市さんや、共同提案団体をはじめ追加共同提案団体からの意見・後押しを見る度に嬉しい気持ちになり、最終的には「中長期的にでもいいので、皆さんのためにも絶対に実現させたい。」と思うようになりました。



宮城県利府町は、宮城県の中央に位置し、仙台市に隣接する人口約3.6万人の都市と自然が調和した町です。